

令和7年度
事業報告書

社会福祉法人 大東市社会福祉協議会

目 次

1	理事会・評議員会等開催状況	1 P
2	社協会員・会費状況	4 P
3	会員募集協力自治会助成事業	5 P
4	ふれあい出前講座	5 P
5	お茶のみ休憩所（まちかどサロン）事業	6 P
6	大阪府福祉基金地域福祉振興助成金（民間団体提案型）事業	6 P
7	地域福祉部会活動	7 P
8	大東市地域貢献委員会の取組み	7 P
9	福祉機器銀行取扱状況	8 P
10	視覚障害者用「声の広報」作成業務	8 P
11	視覚障害者用「声の議会だより」作成業務	8 P
12	高齢者見守り事業「さわやか笑顔訪問」	9 P
13	ボランティアセンター事業	10 P
14	校区(地区)福祉委員会活動と小地域ネットワーク活動	12 P
15	日常生活自立支援事業	13 P
16	献血推進事業	15 P
17	貸付制度	18 P
18	善意銀行の状況	19 P
19	共同募金運動の状況	20 P
20	歳末たすけあい運動の状況	20 P
21	地域づくり事業「RiBBON」	21 P
22	ボランティア基金の状況	22 P
23	社会福祉基金の状況	22 P
24	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	23 P
25	生活困窮者自立相談支援事業	24 P
26	生活困窮者緊急物資等支援事業	25 P
27	重層的支援体制整備事業（移行準備）	26 P
28	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）	27 P
29	総合福祉センター事業	28 P

1 理事会・評議員会等開催状況

《理 事 会》

回	開 催 日	開催場所	出席数	案 件
1	令和 7 年 5 月 22 日 (木) (開会) 午前 10:00 (閉会) 午前 11:24	大会議室	理事 12 名 監事 2 名	①令和 6 年度事業報告の承認 ②令和 6 年度決算報告の承認 ③～⑦評議員選任・解任委員会委員の選任 ⑧評議員選任・解任委員会の開催 ⑨～⑳評議員候補者の推薦 ㉓令和 7 年度第 1 回 (定時) 評議員会の開催 ㉔～㉕役員 (理事・監事) 候補者の推薦
2	令和 7 年 6 月 12 日 (木) (開会) 午後 2:00 (閉会) 午後 2:42	大会議室	理事 13 名 監事 2 名	①大東市社会福祉協議会会長の選定 ②～③大東市社会福祉協議会副会長の選定 ④社会福祉法人大東市社会福祉協議会経理規程の改正
3	令和 8 年 3 月 13 日 (金) (開会) 午前 10:00 (閉会) 午前 11:00	大会議室	理事 13 名 監事 2 名	①大東市社会福祉協議会副会長の選定 ②令和 7 年度補正予算 (案) ③社会福祉法人大東市社会福祉協議会経理規程 の改訂 ④令和 8 年度事業計画 (案) ⑤令和 8 年度予算 (案) ⑥～⑭地域福祉部会委員の選任 ⑮役員等賠償責任保険契約 ⑯令和 7 年度第 2 回評議員選任・解任委員会の開催 ⑰評議員候補者の推薦 ⑱令和 7 年度第 2 回評議員会の開催 ㉑役員 (理事) 候補者の推薦

《評議員会》

回	開 催 日	開催場所	出席数	案 件
1	令和 7 年 6 月 12 日 (木) (開会) 午前 10:00 (閉会) 午前 10:54	大集会室	評議員 19 名 理事 1 名 監事 2 名	①令和 6 年度事業報告の承認 ②令和 6 年度決算報告の承認 ③～⑱役員 (理事、監事) の選任
2	令和 8 年 3 月 27 日 (金) (開会) 午前 9:55 (閉会) 午前 10:55	大会議室	評議員 23 名 理事 1 名 監事 1 名	①役員 (理事) の選任 ②令和 7 年度補正予算 (案) ③令和 8 年度事業計画 (案) ④令和 8 年度予算 (案)

《その他の会議》

会 議 名 称 区 分	開催回数
地域福祉部会	1
ボランティア団体連絡会	2
大東市民生委員児童委員協議会	62
大東市献血推進協議会	1
大東市地域貢献委員会	4
大東市校区（地区）福祉委員会委員長連絡会	2

《他機関会議等への参加》

会 議 名 称 区 分	出席回数	参加人数	備考(主催者等)
民生委員児童委員推薦会	4	4	大東市
子ども・子育て会議	3	3	大東市
児童虐待防止代表者会議	1	1	大東市
障害者長期計画作成市民会議	3	3	大東市
障害者総合支援協議会	3	3	大東市
障害者虐待防止連絡会議（代表者会議）	1	1	大東市
障害者虐待防止連絡会議（実務者会議）	3	3	大東市
総合介護計画運営協議会・委員会	3	3	大東市
地域包括支援センター運営協議会	2	2	大東市
地域密着型サービス等の運営に関する委員会	1	1	大東市
国民健康保険運営協議会	1	1	大東市
自殺対策推進連絡会	2	2	大東市
大東市地域移行支援・定着ネットワーク会議 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム	5	5	大東市
DV防止対策連絡会議代表者会議	1	1	大東市
ひとり親家庭・生活困窮者自立支援事業月例報告会	12	12	大東市
人権啓発ネットワーク役員会・委員会	5	5	大東市
コミュニティソーシャルワーカー協議会	12	22	大東市他
北河内福祉有償運送運営協議会	3	3	北河内7市
北河内介護人材確保連絡会議	1	1	北河内7市・社協
北河内地区社会福祉協議会連絡会	2	4	北河内7市社協合同

《他機関会議等への参加》

北河内地区小地域ネットワーク担当者会	1	1	北河内 7 市・社協
北河内地区ブロック C S W 連絡協議会	1	2	北河内 7 市・社協
北河内地区社協日常生活自立支援事業情報交換会	1	3	北河内 7 市社協合同
北河内地区社協ボランティアセンター担当者会議	2	2	北河内 7 市社協合同
四條畷保健所運営協議会	1	1	守口・寝屋川保健所
共同募金会評議員会、事務局長会等	6	6	大阪府共同募金会
大阪府社会福祉協議会理事会・評議員会等	3	3	大阪府社会福祉協議会
市町村社協連合会総会、会長・事務局長会等	24	28	大阪府社会福祉協議会
地域組織担当職員会議	1	1	大阪府社会福祉協議会
民生委員児童委員協議会関係	8	8	大阪府社会福祉協議会
日常生活自立支援事業会議・研修会等	3	6	大阪府社会福祉協議会
災害担当職員会議	1	1	大阪府社会福祉協議会
大阪府災害 V センター運営シュミレーション	1	1	大阪府社会福祉協議会
地域貢献委員会代表者会議	1	1	大阪府社会福祉協議会
地域貢献委員会担当者会議	1	1	大阪府社会福祉協議会
大阪しあわせネットワーク窓口担当者会議	1	1	大阪府社会福祉協議会
地域ケア会議運営委員会	7	7	大東市地域包括支援センター
地域ケア会議実務担当者部会	12	22	大東市地域包括支援センター
地域ケア会議課長級会議	1	1	大東市地域包括支援センター
ネットワーク会議	1	2	大東市地域包括支援センター
認知症対策会議	7	7	大東市地域包括支援センター
シルバー人材センター総会・理事会	3	3	大東市シルバー人材センター

2 社協会員・会費状況

本会では、昭和41年の社会福祉法人化以来「会員会費制度」を施行し、地域福祉福祉の推進と「安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を進めるために自主財源の確保に努めています。この制度は、区長・自治会長をはじめとした地域役員そして何よりも住民の温かい理解と協力によりその定着が図られています。

《会費区分一覧》

種 別		会 費 (円)	対 象	備 考
一般会員		500	市 民	4月に自治会を通じ募集
賛助会員	A	3,000		
	B	2,000		
	C	1,000		
特別賛助会員		10,000(1口)	市内法人(企業)	個別集金・振込

《会員募集結果一覧》

種 別		会 費 (円)	世帯・法人数	金 額 (円)
一般会員		500	13,297	6,648,895
賛助会員	A	3,000	15	45,000
	B	2,000	11	22,000
	C	1,000	16	16,000
特別賛助会員		10,000(1口)	91	1,010,000
合 計			13,430	7,741,895

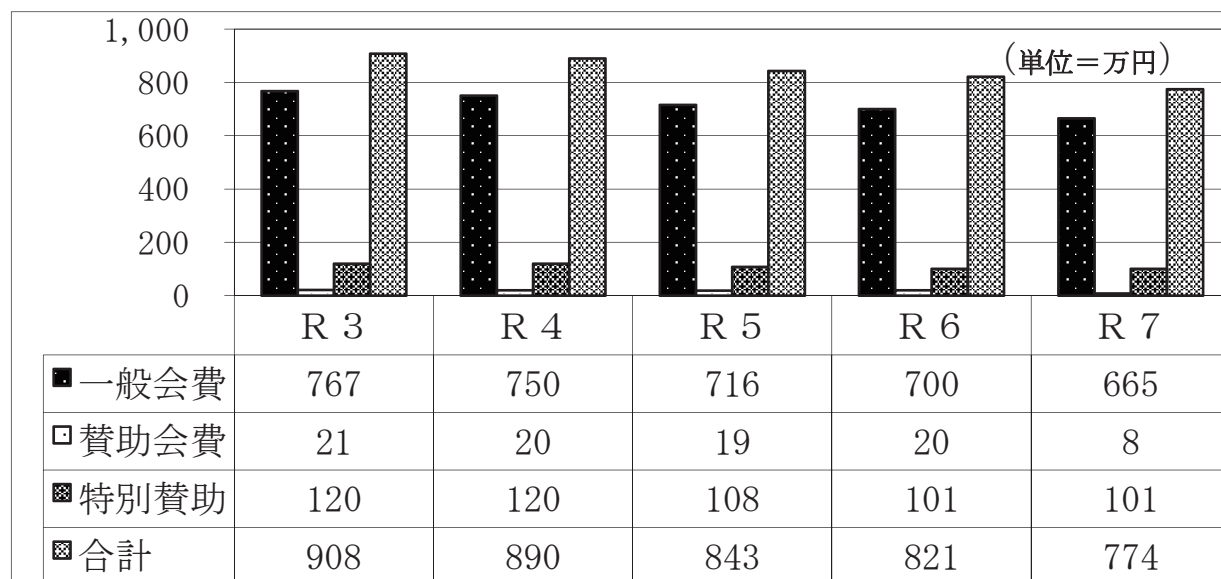
※ 特別賛助会員の複数口数加入法人は、
2口＝4社、3口＝1社、5口＝1社

《会員世帯数》

区 分	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
全世帯数	57,271	57,800	58,176	58,518	58,795
会員世帯数	15,334	15,000	14,324	14,018	13,297

市内全世帯に対する会員比率は、約22%と微減しており、地域福祉活動にご賛同いただき、会員として会費にご協力いただけるよう啓発していくことが課題となっています。

過去5年の会費額の推移



3 会員募集協力自治会助成事業

区・自治会の福祉活動の円滑な推進と活性化を図るため、平成28年度から会員募集協力自治会に対して助成事業を実施しています。

この事業は、交付する年度の前年度において本会会費を納入した区・自治会等に前年度の会員会費実績額の約10%を申請書に基づき助成するものです。令和7年度実績としては61件に690,900円を助成しました。

4 ふれあい出前講座

福祉活動・ボランティア活動に関心を持っていただけるよう、地域住民、学校、団体に対して「ふれあい出前講座」を実施しています。

講座は、大きく「暮らし」と「災害」に分け、12種類のテーマで本会職員が講師を勤め、必要に応じて当事者団体やボランティア団体の協力を得て実施しています。

実施月	テーマ	団体	人数				
令和7年4月	天災は忘れたころにやってくる	住民	23	実施回数 15 回 参加人数 563 人			
令和7年4月	天災は忘れたころにやってくる	住民	34				
令和7年4月	認知症予防にも役立つ回想法！	住民	27				
令和7年5月	天災は忘れたころにやってくる	住民	15				
令和7年5月	天災は忘れたころにやってくる	住民	26				
令和7年6月	体験してみましょ！アイマスク	四条中学校	90	令和7年11月	体験してみましょ！手話	住民	40
令和7年6月	始める！始まる！ボランティア	四條畷学園	9	令和7年11月	体験してみましょ！車いす	谷川中学校	94
令和7年9月	社協とは	教育委員会	21	令和8年1月	社協とは	民生委員	7
令和7年9月	認知症予防にも役立つ回想法！	住民	27	令和8年3月	体験してみましょ！手話	泉小学校	69
令和7年10月	天災は忘れたころにやってくる	住民	22	令和8年3月	始める！始まる！ボランティア	四条北小学校	59

5 お茶のみ休憩所（まちかどサロン）事業

公共施設や空き家等を活用し地域住民が気軽に集う場を提供し、閉じこもり防止や社会的孤立の解消を目指しています。

また、社会福祉・健康に関する情報提供や相談にも対応し、地域住民が快適な生活を送れるよう、校区（地区）福祉委員会や自治会等で組織化して運営を行っています。

さらに、ボランティア団体と連携し折り紙教室を開催するなど、創意工夫を凝らしながら地域住民が集いやすい場づくりに取り組んでいます。

《事業実績》

実施校区	名 称	開所曜日	開所日数	参加人数
谷川中学校区	いこか	水・木曜日	102	1,460
住道中学校区	太陽会	水・金曜日	83	1,337
大東中学校区	ほっと	木・金曜日	77	670
四条中学校区	ゆったり (野崎第一公民館)	水曜日	50	669
	ゆったり (中垣内公民館)	第1・3 木曜日	20	435
	ゆったり (寺川公民館)	第1・3 土曜日	20	670
南郷中学校区	たいし縁	火曜日	47	736
	たいし縁赤井	木曜日	45	200
深野中学校区	ゆっくり	月・水曜日	91	227
諸福中学校区	アイリス	火曜日	51	909
	アイリスⅡ		53	452
		合計	639	7,765

6 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金（民間団体提案型）事業

令和5年、6年度に引き続き本助成金を活用しICT化に取り組みました。令和7年度においては、タブレットを活用した「地域をつなぐオンライン」プロジェクトを実施し、お茶のみ休憩所の運営委員を対象とした交流会を開催しました。本交流会は、それぞれの拠点から代表者がオンラインで参加し、室内の様子や実施中の雰囲気などをリアルタイムで共有する形式で実施しました。

また、民生委員児童委員協議会や校区福祉委員会委員長連絡会において、LINEWORKSを活用した日々の連絡や会議の日程調整などにも活用し、昨年にも引き続き、資料のペーパーレス化や郵送費の削減など、事務の効率化に効果がありました。

「お茶のみ休憩所交流会」

日時：①令和8年1月27日(火)午前11時～正午

②令和8年1月28日(水)午前11時～午後1時

場所：①ほっと、ゆったり、たいし縁、アイリス

②いこか、太陽会、ほっと、ゆっくり

対象：お茶のみ休憩所運営委員代表者

7 地域福祉部会活動

本部会は、本会会長の諮問に応じて法人運営および地域福祉活動に関する具体的方策について検討し、その結果を会長に答申する役割を担っています。

令和8年度は、重層的支援体制整備事業および地域づくり事業「R i B B O N」の報告、次年度事業の検討を行いました。

開 催 日	内 容
令和8年2月24日(火)	① 重層的支援体制整備事業について
	② 地域づくり事業「R i B B O N」
	③ その他

8 大東市地域貢献委員会の取組み

市内の子ども、高齢、障害の各分野の社会福祉法人等と本会が連携し、地域福祉の向上に寄与することを目的として地域貢献委員会を設置しています。

現在、29法人31施設が加入しています(子ども分野12法人、高齢分野8法人、障害分野7法人、重複分野2法人)。

令和7年度は、活動を広く周知することを目的に、第2回大東市地域貢献委員会フェスタを開催しました。また、多職種・多機関連携の促進や支援者の専門性の向上を目指し、生活支援記録法について合同研修会を行いました。

《総 会》

開 催 日	案 件
令和7年5月27日(火)	①②令和6年度 大東市地域貢献委員会事業・決算報告 ③④令和7年度 大東市地域貢献委員会事業計画・予算(案)

《役員会》

開 催 日	案 件
令和7年4月25日(金)	総会について
令和7年8月8日(金)	イベントについて、研修会の報告
令和7年12月11日(木)	研修会・次年度について

《研修会》

開 催 日	内 容
令和7年6月26日(木) 令和7年7月29日(火)	「生活支援記録法(F-SOAIP)」の理解と活用方法 講師：一般社団法人F-SOAIP実践・教育研究所 共同代表理事 小嶋 章吾氏 参加人数：のべ20名
令和8年2月18日(水)	精神看護学から学ぶ施設の災害対策について 講師：四條畷学園大学 精神看護学科 矢野 貴恵氏 参加人数：20名

《イベント》

開 催 日	内 容
令和7年11月29日(土)	相談ブース、体験ブース 来場者：239名

9 福祉機器銀行取扱状況

市からの受託事業として、市民から寄付のあった車椅子を無料貸し出しする『福祉機器銀行』の運営を行っています。

貸出対象は身体障害者手帳を持つ（申請中も含む）市民又は新規貸出時に介護認定を受けていない（要支援1、2・要介護1は除く）60歳以上の市民です。

《福祉機器銀行備品内容》

備品区分		台数（対前年度比）	備考
車椅子	一般型	63（±0）	新規11台、廃棄11台
	子ども用	5（－1）	廃棄1台
	バギータイプ	3（±0）	—

《月別取り扱い集計票》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計（対前年度比）
新規申込件数	16	6	8	7	10	12	12	12	3	6	3	16	111(+33)
更新件数	4	15	14	8	15	12	7	18	9	5	15	9	131(+1)
合 計	20	21	22	15	25	24	19	30	12	11	18	25	242(+34)

10 視覚障害者用「声の広報」作成業務

市の受託事業として、視覚障害のある希望者に「声の広報」を作成し、月1回の送付を実施しています。

《月別取扱集計表》

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
発送件数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360

11 視覚障害者用「声の議会だより」作成業務

市の受託事業として、視覚障害のある希望者に「声の議会だより」を作成し、年5回の送付を実施しています。

《月別取扱集計表》

区分/月	5	7	8	11	2	合 計
発送件数	30	30	30	30	30	150

12 高齢者見守り事業「さわやか笑顔訪問」

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、乳酸菌飲料のヤクルトを週2回手渡しでお届けしながら高齢者の見守り、孤独感の解消を図ることを目的として事業を実施しています。

多くの利用者から「ヤクルトさんと会話できるのが嬉しい」、「不在時は、ヤクルトさんが心配してくれるので有難い」との声も頂いています。また、配達時に利用者の異変に気づけば関係機関や緊急連絡先に連絡をします。

【対象者】

- 75歳以上のひとり暮らしであること
- 安否確認が可能な介護施設や高齢者施設、高齢者専用住宅などに入居していないこと
- 介護保険の居宅サービス及び介護予防・生活支援サービスを利用していないこと
- 大東市が実施している高齢者給食サービスを利用していないこと

【利用料】 無 料

【配達日】 ①月曜日・木曜日、②火曜日・金曜日 ※（祝日、お盆、年末年始除く）

【利用者数】 239名

《月別実績》

月	登録者数	在宅件数	不在件数
4月	261	1,458	56
5月	253	1,453	45
6月	252	1,555	49
7月	251	1,521	49
8月	250	1,139	47
9月	246	1,350	62
10月	255	1,519	75
11月	251	1,207	52
12月	246	1,347	62
1月	245	1,281	51
2月	241	1,215	44
3月	239	1,360	39
合 計		16,405	631

利用者不在時の対応			
電話での在宅確認	訪問での在宅確認	訪問による安否が確認できず緊急連絡先へ連絡	関係機関へ連絡
53	3	0	0
42	3	0	0
48	1	0	0
46	3	0	0
41	6	0	0
48	14	0	0
65	10	0	0
44	8	0	0
59	3	0	0
45	6	0	0
42	2	0	0
34	5	0	0
567	64	0	0

※ ヤクルト配達時、在宅確認ができなかった件数は631件でした。

この内、電話で在宅確認ができたのは567件、自宅訪問によって在宅を確認できたのは64件となっています。

13 ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や調整、市民への広報活動、大東市ボランティア団体連絡会の後方支援などを行いました。

令和7年度は、夏のボランティア体験プログラムにおいて、体験施設や受け入れ団体を増やしました。また、初めてのボランティア講座を実施し、様々な年代が活動に参加しやすい工夫を行いました。

1 ボランティアに関する総合相談

(1) 相談受付件数 124 件

(2) ボランティアサロンの開催

実施日 毎週金曜日午後1時30分～3時30分

場 所 総合福祉センター 2階 ボランティアルーム

内 容 収集ボランティア活動を実施しながら、ボランティアに関する相談を行い、誰でも気軽に集まることのできる場を提供

協 力 ボランティア「さんごじゅの会」

2 ボランティア保険への加入

(1) 申込受付件数 456 件

(2) 保険内容 ボランティア保険、市民活動行事保険、非営利・有償活動保険
移送中事故傷害保険

3 ボランティア活動団体への助成

交付団体数 18 団体

交付金額 836,200 円

内訳：50,000 円(16 団体)、25,000 円(1 団体)、11,200 円(1 団体)

4 ボランティア関係講習会・研修会の実施

(1) ボランティア講座

名 称：災害ボランティアリーダー養成講座

日 時：令和7年5月24日(土)10時～正午

開催場所：市立総合福祉センター 3階 大会議室

内 容：災害ボランティアについて、能登半島地震について、災害VR体験

受講者：5名

(2) ボランティア講座

名 称：初めてのボランティア講座
日 時：令和7年7月12日（土）10時～正午
開催場所：市立総合福祉センター 2階 集会室
内 容：ボランティア活動について
受 講 者：5名

(3) ボランティア団体連絡会交流研修会

開催日時 令和7年11月29日（土） 午前10時～正午
開催場所 市立総合福祉センター 2階 大集会室
内 容 新規加入団体「大東殺陣道サークル」による演目
社協職員による研修会「災害ボランティアセンターについて」
情報交換会
参 加 者 43名

5 市民啓発

(1) 夏のボランティア体験プログラム

開催期間 令和7年7月14日（月）～9月30日（火）
内 容 施設や団体、地域活動等でのボランティア体験、献血の呼びかけなど
参 加 者 67名

(2) 第18回「大東市ボランティアフェスティバル」

開催日時 令和8年3月8日（日）午前10時～午後0時30分
開催場所 市立総合福祉センター
開催内容 登録ボランティア団体による活動体験コーナー
音楽団体による演奏会、災害コーナー、献血車配車他
共 催 大東市ボランティア団体連絡会・大東市社会福祉協議会
参 加 者 216名

6 関係会議等への参加

○ 大東市ボランティア団体連絡会へのコーディネーター派遣 2回

7 ボランティアセンター登録状況

○ センター登録団体数 24団体
※ ボランティア団体連絡会加入は18団体 273名
（団体に重複登録しているボランティア数を含む。実人数は230名）

14 校区（地区）福祉委員会活動と小地域ネットワーク活動

平成10年度に創設された大阪府の小地域ネットワーク活動推進事業は、校区（地区）福祉委員会を小地域ネットワーク活動の実践組織として位置付けました。大東市では15校区の福祉委員会が補助対象となっており、1校区あたり50万円の補助金（地域福祉・高齢者福祉交付金）と、歳末助け合い配分金から年額平均20万円の助成を行っています。

活動内容としては、「声かけ・見守り」による個別訪問や地域住民同士のつながりをつくる場の提供として「ふれあいサロン」を開催しています。また、小学校や保育所と連携して「世代間交流事業」を実施しています。

今年度も、地域において分野や世代を超えたつながりづくりや相互理解の促進に取り組みました。中でも、子どもと福祉委員会が連携した活動が多く見られ、交流の機会を通じて新たな関係づくりにつながりました。また、地域貢献委員会加入施設やボランティア、企業の協力を得て講座等を実施しました。とりわけ、地域住民の課題となっている携帯電話の利用に関する講座についてはNTTドコモと協働して実施し、実践的な学びの機会となりました。

＜校区(地区)福祉委員会活動実績＞

委員会の名称	事業開始 年度	個別援助 ネット数	ふれあい サロン実施個所	世代間交流 の実施	機関紙 の発行
三箇校区福祉委員会	H10	26	3		
諸福校区福祉委員会	H11	55	3	○	○
氷野校区福祉委員会	H12	30	6	○	
泉校区福祉委員会	H13	36	5	○	○
四条南地区福祉委員会	H14	43	4		
四条北校区福祉委員会	H14	29	4		○
南郷校区福祉委員会	H14	29	3	○	○
深野校区福祉委員会	H14	43	7	○	○
灰塚校区福祉委員会	H14	26	6		○
住道南地区福祉委員会	H14	30	6	○	○
住道北地区福祉委員会	H15	21	5		○
四条地区福祉委員会	H15	34	1		○
深野北校区福祉委員会	H15	9	2	○	○
北条西地区福祉委員会	H15	8	3		
北条地区福祉委員会	H15	39	7	○	

15 日常生活自立支援事業

認知症や障がいにより判断能力が十分でない方の生活や金銭管理を支える権利擁護支援であると同時に、ご本人自身による決定をお手伝いする意思決定支援です。

《サービス内容》

① 福祉サービス利用援助

- ・福祉サービスの利用に関する相談、契約のお手伝い
- ・行政手続き

② 日常的金銭管理サービス

- ・福祉サービスや医療費の利用料金、税金や保険料、公共料金、家賃支払い手続き
- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き

③ 書類等預かりサービス

- ・年金証書、預貯金通帳、実印などの書類預かり

《相談援助件数（問合せ・相談援助件数）》

内 容		本事業の利用に関するもの				合 計
事 項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	
問合せ件数 (制度、事業について)		14	4	3	5	26
初回相談件数 (初回相談受付)		32	5	15	2	54
累 計		46	9	18	7	80

《契約締結件数》

対象者		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	生活保護 (再掲)	合 計
事 項						
契 約 者 数		9	5	7	(14)	21
契約時自宅外 (再掲)	施 設	4	0	0	—	4
	病 院	1	0	0	—	1
	ケ・ループ ホーム	0	4	6	—	10

《終了件数》

対象者 事 項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合 計
累 計		9	4	2	15

《生活支援員活動件数（契約者訪問件数）》

対象者 事 項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合 計
累 計	総活動件数	672	915	1,392	2,979
	内、生活保護 受給者分	351	258	863	1,472

《実利用人数》

対象者 事 項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合 計
実利用人数		20	38	38	96

16 献血推進事業

少子高齢化の進行に伴い献血協力者が減少する中、大阪府や赤十字血液センターと連携し、年間を通じて献血者を安定的に確保することを目的に献血事業を実施しています。

大東市献血推進協議会の事務局として、地域住民の献血の理解と協力を求めるための普及啓発活動を行い、輸血用血液の安定的な供給を目指した活動を実施しました。

詳細については下記の【表1】～【表7】のとおりです。

《大東市献血推進協議会総会》

開催日：令和7年5月29日（木）午前10時～午前11時

[議案]

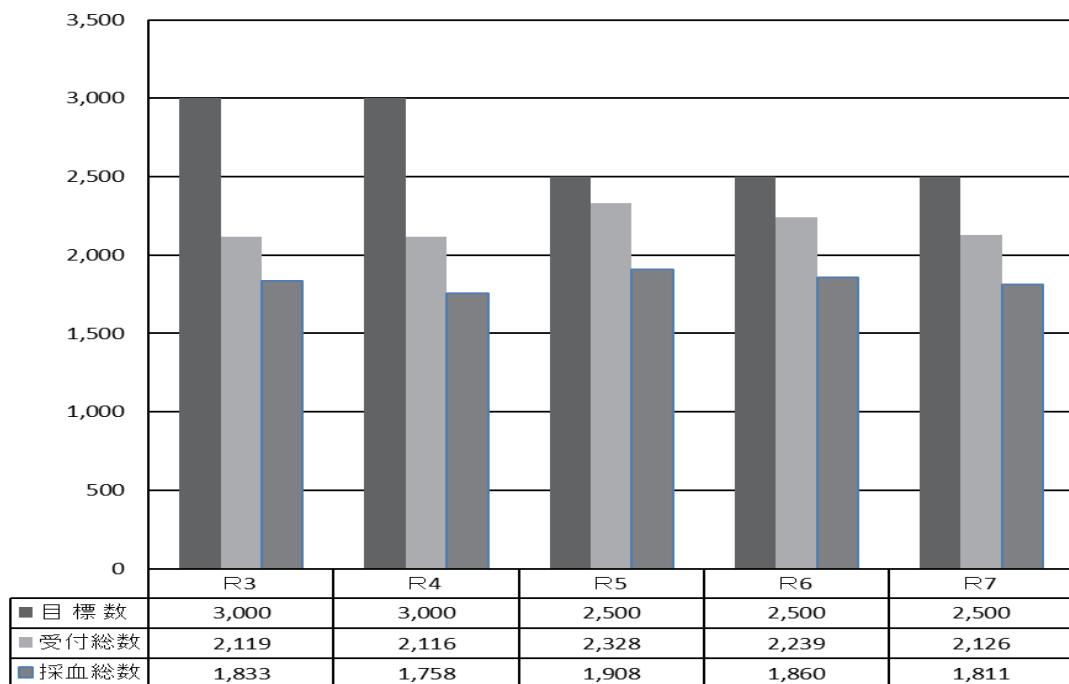
(1) 令和6年度大東市献血推進協議会事業報告並びに決算報告の承認

(2) 令和7年度大東市献血推進協議会事業計画（案）並びに予算（案）の承認

【表1】《目標・実績対比一覧》

区 分	年間目標人数（人）	年間実績人数（人）	達成率
大東市	2,500	2,126	88.6%

過去5年の目標と実績の推移



【表2】《大東市献血推進協議会委員構成》

区 分	役職・組織・団体名称	委員数
大東市・大阪府	市長・保健所	2
福祉関係者・団体	民生委員児童委員協議会・ボランティア団体連絡会	3
社会教育関係団体	大東市女性の会	2
社会運動団体	青年会議所、大東ライオンズクラブ・東大阪大東堺ライオンズクラブ	3
学識経験者	元市議会議員、元福祉委員	2
社協役職員	社会福祉協議会会長	1
合 計		13

【表3】《広報啓発活動一覧》

区 分	内 容
献血街頭 キャンペーン	○令和7年7月5日（土）午前10時～午前10時30分 参加協力者14名 ○令和7年12月6日（土）午前10時～午後10時30分 参加協力者16名 【場所・実施方法】 ポップタウン住道周辺・ポケットティッシュ配布
広報誌記事掲載	市報12回
その他	実施会場での呼びかけ、ポスター掲示など

【表4】《地域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実 施 場 所	主 催	受付数	採血数	不適	400m l 採血数	200m l 採血数
1	4	13	日	ポップタウン住道スペイン広場	大東フレンドフォーラム	44	40	4	39	1
2		26	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	39	34	5	34	0
3	5	3	祝	池田泉州銀行大東支店	大東市献血推進協議会	34	34	0	32	2
4		4	祝	池田泉州銀行大東支店	大東ライオンズクラブ	50	44	6	44	0
5	6	8	日	ポップタウン住道スペイン広場	大東フレンドフォーラム	52	48	4	48	0
6		21	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	50	44	6	41	3
7	7	5	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	58	45	13	45	0
8		19	土	ポップタウン住道スペイン広場	東大阪大東堺ライオンズクラブ	51	43	8	43	0
9	8	3	日	住道駅前デッキ	福祉と教育の街を推進する会	52	48	4	48	0
10		7	木	大東市役所	大東市献血推進協議会	35	32	3	32	0
11		15	金	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	55	47	8	47	0
12	9	20	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	42	36	6	36	0
13	10	4	土	ポップタウン住道スペイン広場	大阪大東モラロジー	38	32	6	32	0
14		15	水	ポップタウン住道スペイン広場	大東ライオンズクラブ	23	19	4	19	0
15	11	9	日	末広公園	大東市献血推進協議会	36	31	5	31	0
16		23	祝	ポップタウン住道スペイン広場	大東フレンドフォーラム	60	56	4	53	3
17	12	6	祝	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	37	30	7	30	0
18		21	日	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	30	26	4	26	0
19	1	17	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	49	44	5	44	0
20	2	1	日	住道駅前デッキ	福祉と教育の街を推進する会	48	44	4	43	1
21		5	木	大東市役所	大東市献血推進協議会	48	47	1	47	0
22		21	土	ポップタウン住道スペイン広場	東大阪大東堺ライオンズクラブ	54	50	4	50	0
23	3	4	水	ポップタウン住道スペイン広場	大東ライオンズクラブ	18	18	0	18	0
24		8	日	大東市立総合福祉センター/ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	33	30	3	30	0
小 計						1,036	922	114	912	10

【表５】《職域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実 施 場 所	受付数	採血数	不適	400ml 採血数	200ml 採血数
1	4	14	月	アマゾンジャパン大東FC	29	26	3	26	0
2		22	火	大東中央病院	25	23	2	21	2
3				野崎徳洲会病院	59	48	11	45	3
4				東新鉄建株式会社	17	17	0	17	0
5		23	水	大阪府立消防学校	241	162	79	159	3
6				大阪トヨタNorth(株)大東店	9	8	1	8	0
7	5	21	水	株式会社日本自動調節器製作所	30	28	2	28	0
8	6	11	水	株式会社中北製作所	42	37	5	37	0
9	7	8	火	大東四條畷消防本部	12	11	1	11	0
10		24	木	ニッポー株式会社	31	31	0	31	0
11	8	6	水	阪奈病院(阪奈苑)	18	15	3	14	1
12				パナソニック(株)産業デバイス事業	38	30	8	30	0
13				大阪府四條畷警察署	22	21	1	21	0
14		20	水	株式会社椿本カスタムチエン	17	15	2	15	0
15	9	24	水	野崎徳洲会病院	57	43	14	41	2
16				株式会社永木精機	11	10	1	10	0
17		29	月	西濃運輸株式会社大東支店	13	12	1	12	0
18	10	1	水	大阪トヨタNorth(株)大東店	4	3	1	3	0
19		30	木	大東中央病院	15	9	6	8	1
20				大阪府立消防学校	149	114	35	114	0
21	11	3	祝	大阪中央ダイガスト	43	39	4	39	0
22		10	月	アマゾンジャパン大東FC	18	16	2	16	0
23		19	水	東新鉄建株式会社	15	14	1	14	0
24	12	10	水	大東四條畷消防本部	12	9	3	9	0
25		16	火	阪奈病院(阪奈苑)	21	18	3	16	2
26				ニッポー株式会社	21	18	3	17	1
27	1	19	月	大東市上下水道局	9	8	1	8	0
28	2	18	水	株式会社椿本カスタムチエン	17	15	2	15	0
29				パナソニック(株)産業デバイス事業	30	27	3	27	0
30	3	13	金	大阪府四條畷警察署	15	12	3	12	0
31		16	月	西濃運輸株式会社大東支店	7	6	1	6	0
32		19	木	明星金属工業株式会社	8	7	1	7	0
小 計					1,055	852	203	837	15

【表６】《学域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実 施 場 所 等	受付数	採血数	不適	400ml 採血数	200ml 採血数
1	4	23	水	大阪産業大学	13	10	3	10	0
2	11	19	水	大阪産業大学	22	17	5	15	2
小 計					35	27	8	25	2

【表７】

区 分	受付数	採血数	不適	400ml	200ml
地域献血	1,036	922	114	912	10
職域献血	1,055	852	203	837	15
学域献血	35	27	8	25	2
合 計	2,126	1,801	325	1,774	27

17 貸付制度

1 大阪府生活福祉資金

この貸付金は、低所得者や高齢者、障害者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の向上、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

令和7年度、福祉資金については、転宅費、生活必需品（エアコン）費として、生活困窮の世帯へ貸付を行いました。また、教育支援資金については、高校、大学等への就学に必要な資金の貸付を行いました。

《取扱件数及び金額》

資 金 の 種 類	申請件数	申込金額（円）	貸付件数	貸付決定金額（円）
福 祉 資 金	8	945,000	7	838,000
教育支援資金	7	2,961,000	7	2,953,000
計	15	3,906,000	14	3,791,000

2 大阪府生活福祉資金(総合支援資金)

この貸付金は、失業や減収により生計の維持が困難になり、生活再建のため継続的な相談支援を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に対して資金を貸し付けることにより、世帯の自立を支援します。なお、令和7年度の申請はありません。

3 生活福祉資金(緊急小口資金)

この貸付金は、初回給料、年金、公的給付までのつなぎや傷病、解雇、休業などの理由により一時的に著しい生活困窮に陥ったときに、その世帯に対し生活の改善・自立のために必要な資金を貸し付けています。

《取扱件数及び金額》

申込件数	貸付件数	貸付決定金額（円）
15	8	668,000

4 臨時特例つなぎ資金

この貸付金は、大阪府内に居住予定の離職者を支援するため、公的給付制度・貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、その資金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けることにより、自立した生活を支援することを目的としています。

なお、令和7年度の申請はありません。

5 フォローアップ支援事業

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度（緊急小口資金・総合支援資金）の特例貸付を借り受け、生活に困窮し支援が必要な借受人に対し、償還猶予・免除や生活再建に向けた支援に繋げることを目的としています。

（１）借受人 2,328 人（うち償還残額のある借受人 1,221 人、本会での支援実施者数 462 人）

（２）主な相談対応件数（年間延べ件数）

- ・ 償還・免除に関する手続きに未応答の借受人への支援

 - 相談対応（対面 74 件、電話 255 件） 情報発信（郵送 589 件、チラシ配布 238 件）

 - アウトリーチによる生活状況の把握（電話 703 件、訪問 344 件）

 - 自立相談支援機関等との連携 178 件

- ・ 償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援

 - 相談対応（対面 56 件、電話 173 件） 情報発信（郵送 68 件、チラシ配布 41 件）

 - アウトリーチによる生活状況の把握（電話 54 件、訪問 53 件）

 - 自立相談支援機関等との連携 110 件

- ・ 償還中・猶予中の借受人へのフォローアップ支援

 - 相談対応（対面 16 件、電話 56 件） 償還・免除申請に係る支援 69 件

 - 自立相談支援機関等との連携 167 件

- ・ 償還免除・償還完了者へのフォローアップ支援

 - 相談対応（対面 183 件、電話 608 件、メール 12 件）

 - 自立相談支援機関等との連携 246 件

18 善意銀行の状況

預託された方の意思を十分考慮したうえで、援助が必要な方のために役立てます。

《預託内容》

車椅子 7 台、碁盤・碁石 4 セット、ぬいぐるみ・フィギュア計 41 点、

お米 212.5 kg、食料品 21.45 kg、ラーメン 10 ケース、缶詰 152 缶、レトルト 50 食

紳士服 4 点、靴下 5 点

19 共同募金運動の状況

[大阪府共同募金会大東地区]

「赤い羽根」のシンボルマークで、毎年10月の風物詩として全国で展開され市民に定着している「共同募金」は、民間社会福祉施設や地域福祉を推進する社協等の組織団体に配分され、貴重な財源となっています。

本年度も、以下のような方法で募金活動等を実施しました。募金総額は前年度と比較して減少したものの、街頭募金については、同一箇所内で複数地点に分かれて実施するなどの工夫により、啓発の機会を拡充しました。その結果、10月1日の募金額の増加につながりました。

1. 区自治会を通じた地区募金
2. 関係団体等による募金箱の設置
3. 民生委員児童委員の協力を得た街頭募金活動（4ヶ所で実施）

《募金実績一覧》

区 分・説 明	金 額 (円)	備 考
戸 別 募 金	4,330,220	—
街 頭 募 金	161,360	共同募金協力型自動販売機の募金含む
法 人 募 金	22,259	大阪府共同募金会への直接入金分含む
バッジ募金	300,000	500円×600個
合 計	4,813,839	

20 歳末たすけあい運動の状況

[大阪府共同募金会大東地区]

毎年、年の瀬の風物詩「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として実施されています。「つながり ささえあう みんなの地域づくり」を合言葉に、本年度も多くの皆様のご理解とご協力のもと、運動を実施することができました。

《募金実績一覧》

区 分	金 額 (円)	備 考
戸別募金	4,331,700	—
個人・団体募金	76,222	—
合 計	4,407,922	

《募金配分実績一覧》

助成事業名	件 数	金 額 (円)
校区福祉委員会運営費助成	15	3,000,000
ふれあい喫茶事業	5	1,581,953
合 計	20	4,581,953

21 地域づくり事業「RiBBON」

誰もが気軽に立ち寄れる居場所として開放し、イベントやIT相談、フードバンクなどを通じて、住民や団体のゆるやかなつながりを育み、地域共生社会の実現を目指す事業です。

令和4年度に共同募金配分金を活用して末広町で開始し、令和6年度には寺川地区に2か所目を開設しました。運営はボランティアのMUSUBiサポーターが担い、孤独・孤立の防止や地域参加の促進に取り組んでいます。利用者は年間延べ1,800名を超え、地域の居場所として定着しています。市内4か所の設置を目指し、「はいづかRiBBON道くさ」と「ごりょうRiBBON」の開設に向けて準備を進めています。

<活動実績>

【すえひろ】

月	一般利用者	フードバンク配布数	月	一般利用者	フードバンク配布数	月	一般利用者	フードバンク配布数
4月	90	75	8月	88	52	12月	101	79
5月	105	84	9月	102	57	1月	107	71
6月	111	68	10月	141	62	2月	104	120
7月	137	79	11月	96	68	3月	118	77

【てらがわ】

月	一般利用者	フードバンク配布数	月	一般利用者	フードバンク配布数	月	一般利用者	フードバンク配布数
4月	38	46	8月	38	45	12月	62	65
5月	43	48	9月	55	53	1月	38	69
6月	40	46	10月	48	46	2月	50	44
7月	85	37	11月	47	65	3月	49	98

【年間総数】

- 一般利用者数：1,893人 ○ フードバンク配布数：1,554個
- イベント実施回数：29回（参加者延べ236人）
- MUSUBi サポーター実人数：48人 開所にかかる MUSUBi サポーター延べ人数：346人

【RiBBONに関する講演実績】

	実施日	研修内容	出張先	依頼者	参加人数
1	5/7	大阪府内市町村社協 新任職員対象新任研修	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協議会	70名
2	10/16	令和7年度福祉ビジョン 21世紀セミナー	全社協・瀬尾ホール (東京)	全国社会福祉協議会	150名
3	9/18 10/22	現地視察	すえひろ RiBBON てらがわ RiBBON	四條畷市社会福祉協議会	4名
4	11/17	枚方市校区福祉委員会 協議会第1回南エリア会議	ラポールひらかた	枚方市校区福祉委員会 協議会	40名
5	12/17	孤独・孤立対策 公民連携フォーラム	QUINTBRIDGE	大阪府福祉部	60名
6	2/4	島本町社協役員 視察研修会	大東市立 総合福祉センター	島本町社会福祉協議会	45名

22 ボランティア基金の状況

「ボランティア基金」は、ボランティア活動の振興を図ることを目的に昭和61年度に創設しました。平成12年には当初目標の1億円を達成し、令和5年度に長期国債を購入し、安全で有利な資金運用を行っています。また、この利息をボランティアセンターの運営費や下記の登録団体への助成に充てています。

《ボランティア団体に対する活動助成》

50,000円助成（②～⑧、⑩～⑱の団体）

25,000円助成（①の団体）

11,200円助成（⑨の団体）

総額＝836,200円

①	ボランティアさんごじゅの会	⑩	日本語ボランティアパステル
②	ボランティア縫心会	⑪	パソコンボランティアパソ救
③	手話サークル虹	⑫	シルバーアドバイザー大東の会
④	点訳ボランティアたんぽぽ	⑬	ギターサークル「トパーズ」
⑤	音訳ボランティアともしび	⑭	パソコン・ドクター
⑥	ボランティアエンゼルQ	⑮	大東傾聴の会「えがお」
⑦	在宅介護ボランティアほっと	⑯	大東ハーモニカアンサンブル
⑧	難病介護ボランティアふれあい	⑰	三味線ジーバーズ
⑨	送迎介護ボランティアよりそい	⑱	大東殺陣道サークル

23 社会福祉基金の状況

本会の社会福祉活動の推進と安定した運営を図るため、「社会福祉基金」を運用しています。

《寄付金実績一覧》

区 分	金 額（円）	件 数
窓口募金箱	2,659	12
個人・組織・団体寄付金	583,459	14
寄付金合計額	586,118	26

24 コミュニティソーシャルワーカー配置事業

大東市では地域の身近な相談窓口として市内8か所に「安心・いきいきネット相談支援センター」を設置しています。年齢や内容を問わず、さまざまな困りごとや悩みごとの相談を行う専門員としてコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が配置されています。「困ったときに相談できる人がいる」と感じられるような個別支援と地域づくりを進めています。

本会は、平成16年10月に大東市から住道中学校区の委託を受け、平成25年度には大東中学校区の委託も受けました。平成29年度からは、細やかな相談体制をとるために小学校区割となり、担当エリアは泉小学校区・住道南小学校区・灰塚小学校区となりました。

近年は生活課題の複合化が進み、1人の相談者が複数の相談を抱えるケースが増えています。そのため、相談対象者と相談内容に差が見られるようになっており、この傾向は下記の表からも確認できます。

相談対象者	延べ件数
高齢者	598
（うち）1人ぐらし高齢者	396
（うち）高齢者のみの世帯	38
（うち）高齢者を含む世帯	164
障がい者	538
（うち）身体障がい者	48
（うち）知的障がい者	15
（うち）精神障がい者	475
子育て中の親子	11
一人親家庭の親子	21
青少年	7
DV被害者	1
ホームレス	0
外国人（中国帰国者を含む）	5
ひきこもり	34
生活困窮者	270
上記以外の住民	169
関係機関等	185
合 計	1,839

相談内容	延べ件数
福祉制度・サービス	242
生活に関する身近な相談	266
健康・医療	159
生活費	150
就労	94
財産管理・権利擁護	19
消費者被害	2
多重債務	38
DV・虐待	4
地域福祉・ボランティア活動	276
住宅	182
子育て・子どもの教育	12
見守り・傾聴	177
支援・調整	677
手続き支援	72
入所・入、退院	51
家族・対人関係	83
ひきこもり	1
安全	5
法律問題	36
合 計	2,546

25 生活困窮者自立相談支援事業

市の受託事業として、生活に困窮している方を対象に、生活保護受給に至る前の段階で自立した生活を送れるよう、市役所福祉政策課に窓口(くらしサポート大東)を設置し、相談員を配置しています。

債務の増加や物価高騰の影響で生活苦に対する相談に対して、就労や家計相談を実施するほか、資金貸付、住居確保給付金等を活用し、自立に向けた支援を行いました。

また、ひきこもりや依存症など複合的な地域生活課題を抱える世帯について、支援関係機関と連携し対応するなど、ネットワークを活用し課題の解決を図りました。

《新規相談受付件数（実人数）》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	41	35	32	27	37	33	39	21	22	29	36	35	387

《主な支援実績（新規・継続）（延べ人数）》

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話相談・メール等	132	127	159	127	79	113	88	66	139	100	94	100	1,324
窓口	107	104	84	90	78	83	91	67	71	70	75	45	965
訪問	1	7	6	3	7	5	2	4	5	4	0	8	52
支援調整会議 （プラン策定数）	15	16	24	15	23	20	41	15	18	15	16	16	234
評価実施	11	14	12	9	13	17	17	17	18	10	13	17	168
合計	266	268	285	244	200	238	239	169	251	199	198	186	2,743

《経済的困窮・就労以外の相談》※複数カウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸付	15	9	7	5	6	1	7	2	14	5	3	2	76
住居確保給付金	25	14	21	30	24	33	32	15	16	14	15	15	254
家計相談	1	4	1	0	4	2	1	2	2	0	5	3	25
DV・虐待	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	6
ひきこもり	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	4	1	11
自死企図	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
職業訓練	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	14
外国籍	2	3	3	2	1	1	0	0	2	2	1	1	18
食料支援	13	18	7	15	12	9	18	12	14	14	9	15	156
合 計	57	49	41	54	50	49	61	35	50	39	38	39	562

《住居確保給付金》

決定件数 12件、対応件数 254件

26 生活困窮者緊急物資等支援事業

本会の独自事業として、失業、給料の遅配、疾病などの理由により、日々の食事を満足に摂れない生活困窮者に対し、善意銀行を活用し、一定の期間に限り食材の提供や備品の貸与を行い、自立に向けて関係機関等とともに支援を図っています。

- 提供食材・・・米、レトルト食品、インスタント麺、缶詰など
- 貸与備品・・・カセットコンロ、ボンベ、ランタン、カイロなど

食料提供件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	9	12	7	7	5	7	7	6	7	11	5	4	87

27 重層的支援体制整備事業（移行準備）

本事業は、地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制のあり方を検証するため、令和6年度より移行準備事業として実施し、相談支援包括化推進員を中心に多機関協働による支援調整を行いました。

また、令和6年度に見えてきた課題を踏まえ、令和7年度は新たな制度や会議体の構築ではなく既存の仕組みを機能させることに重点を置き、F-SOAI（生活支援記録法）を活用した専門職間の共通基盤整備や、地域活動拠点「はいづかRiBBON道くさ」の整備を通じた住民参加型の支援基盤づくりに取り組むとともに、会議体への参画や困難ケースに対する支援者支援を通じて、分野や制度を横断した調整を行うハブ機能を担い、包括的な支援体制のあり方について実践的な検証を行いました。

その結果、本市においては制度移行を前提とせず、既存の会議体や取組を活用・強化することが最適であると判断しました。

《相談受付件数》のべ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R7	65	68	60	70	67	56	68	73	64	55	63	64	773
R6	11	46	27	54	68	31	74	47	69	58	54	64	603

《相談対象者属性》のべ人数

属性 \ 年度	R7	R6
高齢者	78	72
身体障がい者	2	20
知的障がい者	3	4
精神障がい者	102	83
ひきこもり	3	19
生活困窮者	36	66
青少年	6	12
外国人	0	13
ホームレス	23	0
その他の住民	34	11
行政・相談支援機関 住民組織等	486	303
計	773	603

《会議等への参加》のべ回数

内容 \ 年度	R7	R6
庁内打ち合わせ	30	32
庁外打ち合わせ	46	31
支援者支援 (訪問同行・カンファレンス同席)	15	27
会議等への参加	63	120
研修会への参加	12	12
研修会の開催	5	0
事業説明会	0	4
社会資源調査	15	16
計	186	242

※本事業は令和6・7年度の2か年検証事業

【指定管理者事業】

28 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）

本事業は昼間、就労や疾病のため自宅に保護者のいない小学校6年生までの児童を対象に、遊びや生活の場を提供し健全育成を図ることを目的としています。

開設当初から児童の安全・安心を重視し、利用者サービスに繋がる取り組みを積極的に行いました。また、主任制を導入することで、保護者への対応や学校との連携を密にし、クラブ間の連絡等、円滑かつ効果的な運営を図ってきました。

現在、12箇所の小学校30クラブを運営しています。当初における登録児童総数は1,276人と毎年1,000人以上の登録となっております。

児童クラブは児童の安全を見守り、就労している保護者等を支援する施設として運営しています。また、市、小学校と連携を図りながら、児童クラブの管理運営を行いました。

《利用平均人数》

	四条北	泉	氷野	灰塚	南郷	住道北	住道南	四条	深野	北条	三箇	諸福	計
人 数	94	113	74	118	92	73	146	113	104	90	97	107	1,221
延 長	17	10	7	7	19	13	21	14	20	10	12	8	158
土 曜	10	17	7	15	10	5	5	25	19	9	15	19	156
障害児	8	7	3	3	3	5	3	4	5	6	4	8	59

《通年事業》

- ◎ 誕生日会(毎月1回)・七夕・夏祭り・クリスマス・年賀状・正月遊び・節分・お別れ会・映画観賞会
- ◎ 防災訓練 全クラブで防災頭巾を使用し地震訓練の実施、
- ◎ ファミリーディ製作(母の日・父の日)、シルバーディ、三好長慶ポスター制作

《実施した事業》

- 学習教室…教員OBによる指導
教員OBによるプリント作成による学習と、教員OBによる指導を実施。
- 子ども安全教室
- たが工房によるペーパークラフト
- 百楽荘訪問
- シルバーアドバイザーによる手作りおもちゃ製作
- 花みずき朗読会

【指定管理者事業】

29 総合福祉センター事業

令和7年度は、高齢者および障害者福祉の向上と利用者サービスの充実を目指し、さまざまな事業を実施しました。新規の取り組みとして、高齢者や障害のある方が創作と交流を楽しめる「おりがみひろば」を月1回実施し、参加者から好評を得ました。また、1階ロビーで障害者創作的活動教室の作品展を行いました。多くの来館者にご覧いただき、創作活動の魅力や温かさを感じていただく機会となりました。

継続事業では、従来から好評の「足湯事業」をはじめ、センター登録団体による「芸能祭」「カラオケ交流会」「囲碁・将棋・ビリヤード大会」などを開催し、参加者同士が気軽に交流できる機会を提供しました。施設管理では、必要に応じて修繕や備品の更新を行い、安心して利用できる施設環境の維持に努めています。また、2階のふれあい喫茶『福°ぷく』は多くの方に利用され、くつろぎながら交流できる場として親しまれています。

《利用対象者》 大東市内在住の60歳以上の高齢者、または身体障害者手帳をお持ちの方

《利用時間》

窓口業務	午前9時～午後8時45分
各部屋の貸出し	午前9時～午後8時45分
入浴サービス	火・水・木・土曜日（午前11時～午後2時45分）
囲碁、将棋、ビリヤード、娯楽室利用	午前9時～午後5時
休館日	日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

《利用者人数：55,197人》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体障害者福祉C	448	571	516	582	372	431	549	457	476	484	475	297	5,658
老人福祉C	3,177	3,031	2,754	2,323	2,287	2,408	2,785	2,883	2,764	2,736	2,738	2,959	32,845
社会福祉C	980	947	1,211	982	473	965	862	1,087	798	857	1,154	1,008	11,324
その他	425	372	370	451	265	594	557	435	369	511	540	481	5,370
合 計	5,030	4,921	4,851	4,338	3,397	4,398	4,753	4,862	4,407	4,588	4,907	4,745	55,197

《自主事業》

足湯事業 『利用者の健康を 考える日』	利用者に対し冷え症の改善や疲労回復等に効果がある足湯を提供している。 また同時開催として、介護予防や熱中症予防などの教養講座や吹奏楽の演奏会、イスに座ってできるリラックス体操なども実施した。 (毎月第3金曜日に実施)
緑化事業 『花と緑あふれる センターづくり』	総合福祉センター緑化協力員の協力を得て、四季折々の花を育てることで、エコ対策を推進するとともにセンターの景観を向上させ、利用者の皆様へサービス向上を目指した花と緑あふれるセンターづくりを実施した。
教養娯楽事業	利用者の交流を通して生きがいづくりを進める催しを実施した。「芸能祭」では、楽器演奏や舞踊、ダンスなどのサークルが日頃の成果を披露する合同発表会を実施した。また、「囲碁・将棋・ビリヤード大会」「カラオケ交流会」を開催し、気軽に参加できる交流の場を提供した。さらに、「落語会」や「教養講座」、「シニア向けスマホ講座」など、癒しや学びの時間を提供する取り組みを実施した。

総合福祉センター事業実績一覧

月	日	月別活動	内 容	参加人数
4	18	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	25
	18	教養講座	認知症予防にも役立つ回想法 講師：大東市社会福祉協議会 高田 隼弥 氏	25
5	16	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	21
	16	教養講座	ハーモニカ演奏 講師：大東ハーモニカアンサンブル	30
6	20	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	15
	20	教養講座	熱中症予防について 講師：大東市保健医療部地域保健課 古川 舞花 氏	15
	28	聴覚障害者成人講座	認知症を予防する生活習慣と脳はつらつカルタ 講師：NPO法人認知症予防サポートネット 福田 章 氏	12
7	4	消防訓練	火災時の通報、避難、消火訓練により人命の安全確保と災害を予防	40
	5	聴覚障害者成人講座	缶詰を使った料理 講師：交野・啜・大東地域活動栄養士会	15
	14	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	23
	14	教養講座	椅子に座ってフラダンス 講師：なかよし会 東村 美津子 氏	31
	28	教養講座	姿勢リセットピラティス 講師：岡崎 順子 氏	17
8	22	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	20
	22	教養講座	特殊詐欺被害防止等の教室 講師：大阪府警察本部 生活安全指導班	26
	25	シニア向けスマホ活用術	セキュリティ・健康管理編 講師：スマホアドバイザー	21
	30	聴覚障害者問題学習会	ろう者の手話の歴史 講師：守口市身体障害者福祉会 ろうあ部会 会長 小枝 豊 氏	23

総合福祉センター事業実績一覧

9	6	聴覚障害者成人講座	東大阪市消防局防災学習センター	17
	15	敬老の日特別開館	敬老の日を開館してヒノキ湯のサービス実施	314
	15	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	27
	15	教養講座	紙芝居の公演 講師：紙芝居師 桃まる 氏	33
	15	福寿祭カラオケ交流会	カラオケ活動団体及びセンター利用者相互の交流促進の場を提供	28
	15	健康チェック＆相談会	体組成計などの機器を用いた測定及び相談	63
	15	ゲームコーナー（輪投げ・あめすくい）	ゲームコーナー（輪投げ・あめすくい）にてセンター利用者相互の交流を促進	93
	15	アロマでリフレッシュ「癒しの空間づくり」	心身をリラックスさせるアロマの香りで癒し空間を提供	19
	22	ボッチャ体験	障害のある方と地域住民の交流および理解促進を図る場	17
10	2	音楽合唱会	ギター演奏で歌いながら言語機能の維持を図る場 講師：トパーズ	15
	14	聴覚障害者問題学習会	目で聴く世界の扉を開く 講師：目で聴くテレビキャスター 水本 博司 氏	31
	17	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	26
	17	教養講座	ギター演奏 講師：ギターサークルげんき 日野 眞由美 氏	34
	24	健康チェック＆血管講座	血管についてのお話と血管年齢などの機器を用いた測定及び相談	29
	29	カラオケ交流会	カラオケ活動団体の交流促進の場を提供	36
11	11	落語会	落語会 講師：天満家 うつぼ 氏 (素人寄席・天満天神の会)	68
	15	聴覚障害者成人講座	お正月ミニ御膳 講師：交野・啜・大東地域活動栄養士会	12
	21	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	26
	21	教養講座	笑って元気！笑いヨガ 講師：NP0法人認知症予防サポートネット 小野田 隆 氏	28
	25	聴覚障害者問題学習会	ろう高齢者を支援・介護して感じたこと 講師：ろうヘルパー 今井 純子 氏	32
	29	聴覚障害者成人講座	ヒートショックを起因として起こる病気について 講師：医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 脳外科医 福田 晃大 氏	17

総合福祉センター事業実績一覧

月	日	月別活動	内 容	参加人数
12	10	ボッチャ体験	障害のある方と地域住民の交流および理解促進を図る場	10
	12	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	26
	12	教養講座	クラリネット演奏 講師：田中 マミ 氏	38
	16	教養講座	歌って脳活！いきいきサロン 講師：中村 美香 氏	36
1	14	おりがみひろば	高齢者や障害のある方を対象に折り紙を通じた創作活動と交流の場を提供(地域のつながりを深める事業)	23
	16	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	29
	16	教養講座	大正琴演奏 講師：秋桜	44
	24	聴覚障害者成人講座	べんがら染め体験	15
	30	骨密度測定&健康講座	骨密度測定を行い、結果の説明を含めた健康のお話	22
	30	聴覚障害者問題学習会	手話で語るわたしの生き立ち 講師：公益社団法人 大阪聴力障害者協会 理事 星沢 篤 氏	21
2	12	センターディスコン大会	年齢や障害の有無を問わず楽しめるディスコン大会を通じて相互交流を促進	48
	18	おりがみひろば	高齢者や障害のある方を対象に折り紙を通じた創作活動と交流の場を提供(地域のつながりを深める事業)	20
	20	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	27
	20	教養講座	住道ミニ寄席 講師：古都家 研多 氏	36
	27	芸能祭	センターで活動する舞踊、ダンスなど芸能分野の団体による発表と交流の機会を提供	80
3	5	音楽合唱会	クロマチックハーモニカ演奏で歌いながら言語機能の維持をはかる 講師：氏原 茂 氏	23
	11	おりがみひろば	高齢者や障害のある方を対象に折り紙を通じた創作活動と交流の場を提供(地域のつながりを深める事業)	18
	16	足湯事業	センター利用者に足湯を楽しみながら新たな知識教養を得る場と交流促進の場を提供	26
	16	教養講座	クイズで学ぶ目の健康 講師：千成ヤクルト販売(株) 西川 佑規 氏	26
	16～28	障害者創作的活動教室作品展	障害者創作的活動教室での学習成果を発表する機会を設け、利用者の創作意欲向上を図ることを目的として開催	50
	19	ボッチャ体験	障害のある方と地域住民の交流および理解促進を図る場	7
	27	囲碁・将棋・ビリヤード大会	娯楽として楽しんでいる日々の成果を発揮し実力発表の場として開催	40
足湯事業：高齢者を対象に健康増進事業で足湯と健康チェック実施(291名参加) 楽しい絵手紙教室：絵手紙講座を通じて参加者相互の交流を図るため実施(127名参加) 元気でまっせ体操：転倒による骨折や認知症により介護が必要となることを防止するため実施(1,813名参加) ディスコン：高齢者の室内スポーツで機能回復訓練の一環として実施(325名参加) 言語訓練：言語障害のある人を対象に機能の維持向上のための訓練を実施(45名参加) 創作的活動教室(生花・木彫り・水彩画・さをり織り・茶道)：障害者の芸術文化活動を振興するため実施(319名参加)				

大東市社会福祉協議会

マスコットキャラクター 『ボラーナ』



多様性を認め 住民同士が支え合い

生きがいと共に創り 高め合うことができる

「地域共生社会」の実現を目指して